

# 筋道を立てて考え、表現する力を高める 算数科指導の工夫

— まとめの場を重視した、自分の言葉で表現する活動を通して —

特別研修員 算数・数学 小野坂 伸幸 (小学校教諭)

## 児童の実態

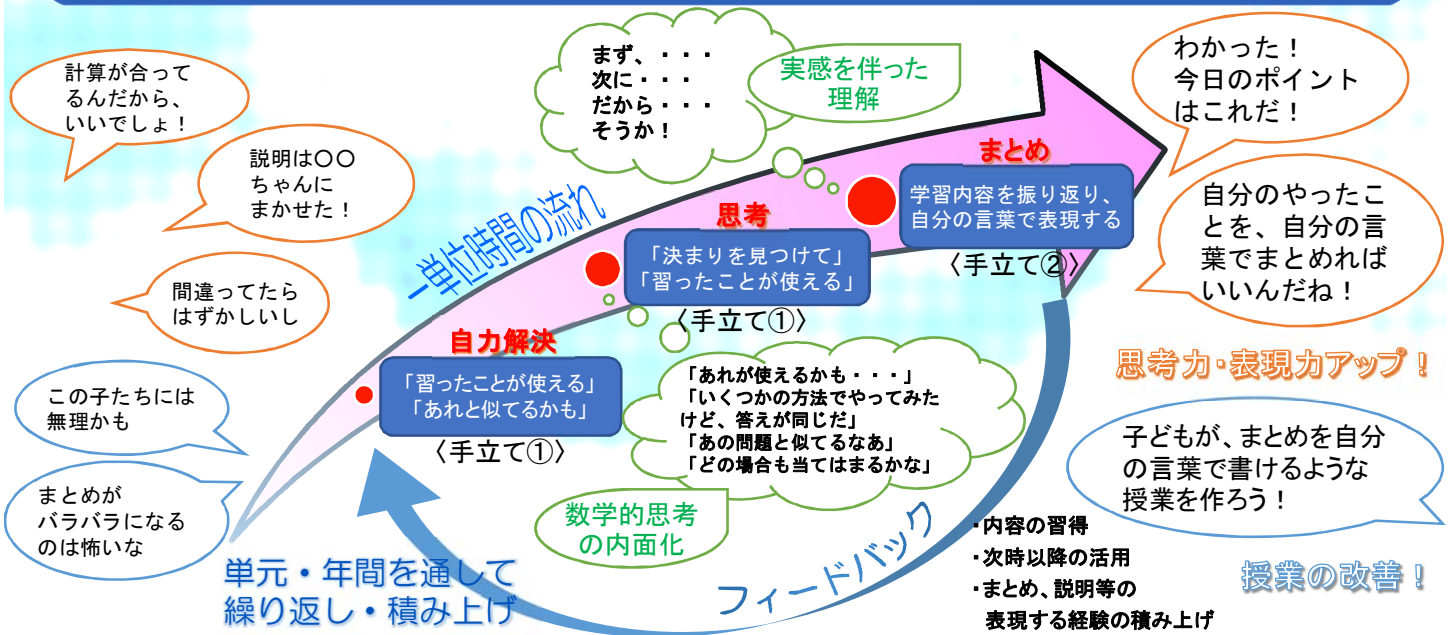
- 答えは出せるけど意味は分からない。
- 式を立てるとき間違えてしまう。
- まとめは、板書や教科書のものを写すだけで済ませてしまう。

## 教師の願い

- 考え方を大切に、「なぜ、そうなるのか」を言える子になってほしい。
- 今日何が大事だったのか、授業の最後に言える子になってほしい。

〈手立て①〉 数学的思考を、常に意識させる。  
「習ったことが使える」「決まりを見つけて」「あれと似てるかも」

〈手立て②〉 順序と根拠を意識して、自分の言葉で表現させる。  
「まず」「次に」「さらに」「だから」と、いうことは・・・



## 筋道を立てて、根拠を示しながら説明

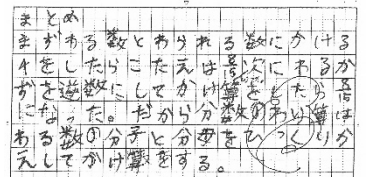


順序や根拠を示す言葉を意識して使うことにより、正しく使えるようになり、「なぜ、そうなるのか」根拠を示しながら説明できるようになった。

## 成果

## 順序立てて振り返り、自分の言葉で表現

授業の内容を振り返ることにより、多様な表現で、大事なことを落とさずに、学習内容を自分の言葉でまとめることができるようになった。



## 提言

- まとめは、ポイントさえ押さえていれば、多様な表現でいいと思います。自分の活動が、自分の言葉で表現できれば、それがその子にとって一番分かりやすい、実感を伴ったまとめなのです。
- 自力解決と、まとめの時間を十分に確保しましょう。時には「やってみたまえ!」の一言で授業が始まっていいのでは。子どもにとって、困ることも実感と習得につながるのです。